

# 依光晃一郎県政報告書

## 6月定例会 般質問 報告

平成27年7月3日



依光晃一郎氏

依光氏 高知家のスター戦略は  
ターゲティングにどんな思い  
を込めているのか。

尾崎正直知事 本県

の一番の強みは人なつ

げていきた。また、

を訴えている。

(自民、香美市)

「人」の魅力前面に 知事  
高知家スター戦略は 依光

つこさ、おおらかさなどの温かい県民性だ。本年度はその「人」の魅力を前面に押し出し、スターの皆さんにプロモーションに直接参加してもらい、PRにつなげている。高知家の認知度を35%まで上げることを目指し、移住促進の成果につなげていきたい。また、

依光氏 高知家のスター戦略にどんな思いを込めているのか。  
尾崎正直知事 本県の一番の強みは人なづけたい。また、

平成28年4月20日発行

### 依光晃一郎後援会

〒782-0051 高知県香美市土佐山田町楠目446-1 TEL 0887-52-9222 FAX 0887-53-2074  
URL <http://yorimitsu.gr.jp/> E-mail info@yorimitsu.gr.jp

高知新聞 平成27年7月4日 朝刊

高知を元気にするための県民参加の輪を広げ、あらためて高知の良さが再発見・再認識される契機になればという思いもある。  
依光氏 県外大学へ進学した県内高校生のUターン就職はどのくらいか。

原田悟商工労働部長  
2014年3月に県内にUターン就職した大学生は約300人で、この数年と同様、県外に進学した大学生の2割に満たない。

依光氏 高知に就職することを迷っている学生や若者たちにどんなメッセージを発しているか。

尾崎知事 私が大事にしているキーワードは「志」だ。県外大学に進学した学生と話す際には「高知には仕事がない」とよく聞く。しかし、県内の企業は規模がそれほど大きくないからこそ、それを自分の意思を生かすことができる。1次産業を含め、自分自身がリーダーとなつて志を果たすことができる。私からも、ぜひ志をかなえるために高知に帰つて来てもらいたい、自分の志を高知で発見してもらいたいということを訴えている。

答

問

県内の高校生のうち、県外の大学へ進学した後に、どれくらいの大学生が地元にUターンして高知県企業に就職しているのか、商工労働部長に聞く。

県外に進学した大学生のUターン就職の状況については、平成23年度から労働局と連携して企業等への調査を継続している。平成26年3月に県外大学を卒業して県内企業等にUターン就職した大學生は約300人で、ここ数年と同

答

問

教育委員会は、生徒の希望、保護者の希望をどのように進路指導に反映しているのか、また生徒に対し、高知県の働く場所についてどのような職業教育を行っているのか、教育長に聞く。

高校生の進路決定に当たっては、上級学校で学ぶことの意義や就職後の自分の人生についてしっかりと考えてもらうことが大事。しかし、進路を決めるに当たっては、有名大学や大企業のブランドにとらわれて進路選択をしているケースが見られる。

このため、キャリア教育の中で、生徒が将来の進路について具体的なイメージを広げられるよう、県内企業でのインターンシップや農林業の体験学習、職業人講話も行っている。加えて、保護者に対しても最新の情報を提供し、保護者と学校が一体となる取り組みが、生徒の県内就職を視野に入れるこにもつながるものと考えている。

今後も、将来の夢や希望を持つて県内で就職し、しっかりと地域や社会を担つていける人材の育成に努めしていく。

県外に進学した大学生のUターン就職の状況については、平成23年度から労働局と連携して企業等への調査を継続している。平成26年3月に県外大学を卒業して県内企業等にUターン就職した大學生は約300人で、ここ数年と同

様に県外大学に進学し就職を迎えた大学生の2割に満たない状況。

大学生のUターン就職を進めていくためには、まず産業振興計画の着実な実行により県内に魅力ある働く場を拡大していくことが重要。

合わせて、県内の魅力ある企業の情報や県内で働くことの魅力を県外大学生に伝えていくことが大切。

県として、県内外で開催される企業説明会やUターンセミナーのほか、新たに進めてる県外大学との就職支援協定の締結の取り組みなどにより、さらなるUターン就職の促進を図つて行く。

人口の転入・転出の詳細な分析を行うために、市町村との人口情報の共有について、どれくらい力を入れているのか、産業振興推進部長に聞く。

那賀町の間では鳥獣被害防止にして協議会を立ち上げて、狩猟者確保の事業や事故防止のための射撃教習会などを実施している。今後も、中山間地域での生活を守るために、住民の方々の生活実態に合わせて柔軟に対策を講じていく。

永瀬ダムの堆積土砂の処理に関する抜本的な対策として、増積土砂の埋め立て処理を行う場所選定の調査を行った。考え方はないか、土木部長に聞く。

永瀬ダムでは、貯水池の上流域に設置した貯砂ダムや、河川に堆積した土砂を掘削し、その土砂を有用残土として売却するなどの処理を行ってきた。

しかし現状の処理方法では、今後も堆積する土砂はふえていくと考えている。昨年度から処理場の選定に関する調査を行っており、提案のあつた箇所及び処理の考え方も含めて検討する。

県境の市町村における、鳥獣被害対策や買い物、移動手段についての話し合いが、どの程度進んでいるのか、中山間対策・運輸担当理事に聞く。

徳島県の那賀町木頭地区の方は物部地区の診療所や香北地区の歯科医院を利用され、空港も高知龍馬空港を利用している。また、香美市と

答

問

インシデント・コマンド・システムに基づいたアクションカードの導入について、県はどのような考え方を持っているのか、また議論を広げていくことについて危機管理部長に聞く。

インシデント・コマンド・システムは、米国で開発された災害の現場において対応に当たる組織の体制とそれを構成する部門ごとの任務を標準化したシステム。

中央東福祉保健所では業務内容の整理とマニュアル化を行っており、アクションカードにより、災害対応に不慣れな職員でも初動の対応ができるように各業務をチエックリスト化している。アクションカードの活用については、福祉保健所での検証を踏まえ、今後、健康政策部とも連携し検討を行っていく。